



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 コマニー株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7945 URL <http://www.comany.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 塚本 健太 (TEL) 0761-21-1144
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,599	△5.7	△262	—	△251	—	△283	—
25年3月期第1四半期	5,937	7.1	△61	—	△50	—	△56	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 61百万円(△4.2%) 25年3月期第1四半期 64百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△31.88	—
25年3月期第1四半期	△6.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	27,357	18,165	66.4
25年3月期	27,658	18,228	65.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 18,165百万円 25年3月期 18,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,800	6.4	400	46.1	400	36.1	320	35.1	35.96
通期	31,700	12.6	2,000	66.1	2,000	59.7	1,680	42.5	188.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	9,924,075株	25年3月期	9,924,075株
26年3月期1Q	1,024,703株	25年3月期	1,024,527株
26年3月期1Q	8,899,440株	25年3月期1Q	8,899,677株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(4) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) 受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権への期待やアベノミクス等の経済政策を背景に、株価の上昇など緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州経済の混乱や情勢不安は少なからず日本経済にも影響を与え、依然として不透明な状況となっております。

このような情勢のもと、当社は営業部門の強化を進め、顧客ニーズに合わせた提案活動及びサービスを提供すると同時に、顧客ニーズに適応する製品の開発等、積極的に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は55億99百万円(前年同四半期比5.7%減)となりましたが、医療・福祉施設向けの設計織込活動や首都圏を主体としたオフィスなどのリニューアル工事等を狙いとして営業した結果、受注残高においては前年同四半期と比較して13.4%と伸張しました。

損益面では、エンドユーザーへの提案営業による売価の改善および全社を挙げて原価低減活動を継続的に取り組んでまいりましたが、円安による原材料高騰の影響などを受け、売上総利益率は39.8%(前年同四半期比0.2ポイント低下)となりました。営業損失は、売上高の減少及び販売管理費の増加により2億62百万円(前年同四半期は営業損失61百万円)、経常損失は2億51百万円(前年同四半期は経常損失50百万円、四半期純損失は2億83百万円(前年同四半期は四半期純損失56百万円))となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 日本

日本国内の景気においては、新政権への期待感など明るい兆しはありますが、景気回復は実感として感じられるところまでいっておらず、依然として不透明な状況にあります。その中でも、首都圏を中心としたオフィスのリニューアル工事などの2次移転・3次移転や医療・福祉施設向けの営業活動を強化し、顧客ニーズに合わせた提案活動やサービスの提供を行ってまいりましたが、当セグメントの売上高は54億95百万円(前年同四半期比5.0%減)となり、営業損失は2億15百万円(前年同四半期は営業損失50百万円)となりました。

② 中国

中国国内においては、日中関係の情勢不安など不透明な状況が続く中、当社グループの企業間連携、補完、交流を積極的に行い原価低減活動に取り組んでまいりましたが、当セグメントの売上高は1億3百万円(前年同四半期比31.6%減)となり、営業損失は44百万円(前年同四半期は営業損失7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ3億1百万円減少の273億57百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ3億77百万円減少の174億24百万円となりました。これは主に、現金及び預金が9億1百万円増加となりましたが、受取手形及び売掛金が19億40百万円減少したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ76百万円増加の99億32百万円となりました。これは主に、投資有価証券が62百万円増加したこと等によります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ1億75百万円減少の48億44百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億66百万円減少したこと等によります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ62百万円減少の43億47百万円となりました。これは主に、長期借入金が1億円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ63百万円減少の181億65百万円となりました。これは主に、利益剰余金が4億8百万円減少したこと等によります。自己資本比率は、前連結会計年度末と比べ0.5ポイント上昇の66.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予測につきましては、当期1四半期連結累計期間は、ほぼ計画通りの状況であり平成25年5月8日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会社方針の変更・会社上の見積りの変更・修正再表示

当該事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,123	7,025
受取手形及び売掛金	9,361	7,420
商品及び製品	1,165	1,445
仕掛品	112	170
原材料及び貯蔵品	652	905
繰延税金資産	342	342
その他	217	299
貸倒引当金	△171	△184
流動資産合計	17,802	17,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,459	2,451
機械装置及び運搬具(純額)	1,028	1,002
土地	3,405	3,405
建設仮勘定	5	22
その他(純額)	139	162
有形固定資産合計	7,038	7,043
無形固定資産		
その他	638	630
無形固定資産合計	638	630
投資その他の資産		
投資有価証券	1,190	1,252
長期貸付金	74	75
繰延税金資産	11	11
その他	932	948
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	2,179	2,258
固定資産合計	9,856	9,932
資産合計	27,658	27,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,890	1,324
短期借入金	525	475
未払法人税等	188	33
賞与引当金	550	333
役員賞与引当金	24	9
その他	1,840	2,669
流動負債合計	5,020	4,844
固定負債		
長期借入金	1,035	935
繰延税金負債	139	163
再評価に係る繰延税金負債	384	384
退職給付引当金	2,567	2,580
その他	283	283
固定負債合計	4,410	4,347
負債合計	9,430	9,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,121	7,121
資本剰余金	7,412	7,412
利益剰余金	4,458	4,049
自己株式	△947	△947
株主資本合計	18,044	17,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	200
土地再評価差額金	277	277
為替換算調整勘定	△250	51
その他の包括利益累計額合計	183	529
純資産合計	18,228	18,165
負債純資産合計	27,658	27,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,937	5,599
売上原価	3,560	3,368
売上総利益	2,377	2,231
販売費及び一般管理費	2,438	2,493
営業損失(△)	△61	△262
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	10	13
持分法による投資利益	0	—
受取賃貸料	3	3
その他	10	6
営業外収益合計	30	33
営業外費用		
支払利息	7	6
持分法による投資損失	—	0
為替差損	3	9
売上割引	5	5
その他	2	2
営業外費用合計	19	23
経常損失(△)	△50	△251
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	13
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	0	17
税金等調整前四半期純損失(△)	△51	△269
法人税等	4	14
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△56	△283
四半期純損失(△)	△56	△283

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△56	△283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	43
為替換算調整勘定	156	302
その他の包括利益合計	121	345
四半期包括利益	64	61
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64	61
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(4) 重要な後発事象

中国合弁会社の設立

当社は、平成25年7月11日開催の取締役会において、下記のとおり合弁会社を設立することを決議いたしました。

1. 設立の目的

格満林(南京)実業有限公司(当社100%出資会社)の所在地(江蘇省南京市江寧区民営科技园内天元中路36号)は、南京市における都市再開発区域に含まれております。当社グループはこの都市再開発に協力するため、格満林(南京)実業有限公司の保有する土地使用権を出資し、合弁会社を設立するものであります。

2. 設立する会社の概要

(1) 商号	未定(登記機関に確認中)
(2) 代表者	橋本光紗(格満林(南京)実業有限公司 董事副総経理)
(3) 本店所在地	江蘇省南京市江寧区民営科技园内天元中路36号
(4) 設立年月日	平成25年8月31日を予定
(5) 主な事業内容	不動産開発
(6) 資本金	10,000千人民元
(7) 出資額(出資比率)	格満林(南京)実業有限公司の土地使用権譲渡による 現物出資 5,100千人民元(出資比率51%)

3. 土地使用権の概要

(1) 敷地面積	44,002m ²
(2) 使用期間	50年
(3) 使用開始日	平成9年12月18日

5. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比 (%)
日本	6,755	105.4	7,529	117.3
中国	298	108.4	1,265	94.7
合計	7,053	105.5	8,794	113.4

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
日本	5,495	95.0
中国	103	68.4
合計	5,599	94.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。